

まちのわだい

避難所運営研修

～実際の災害を想定した避難所運営～

災害の発生に備え、町職員が溝口体育館で5月18日（水）、避難所運営研修を行いました。研修には、避難所の運営に携わる職員10人が参加しました。

この研修には、オフィスGいりえ地域防災研究所の代表であり防災士の入江裕之さんを講師に招き、参加職員は入江さんの経験した避難所運営について説明を受けた後、実際の災害を想定した実践形式の避難所運営研修を行いました。震度6強の地震に加え大雨注意報が発令されたという想定で、発災直後の避難所開設から時間の経過や状況の変化に対応しながら避難所運営を進めました。参加者は、「今回の研修で出た意見や課題を今後の避難所運営に反映させ、より柔軟な災害対応ができるよう注力して取り組みたい」と話しました。



避難所での動きを確認する職員

ラジコン式草刈機オペレーター講習会

～効率よく草刈りが可能な草刈機を導入しました～

産業課は5月26日（木）、ガーデンプレイスでラジコン式草刈機オペレーター講習会を行いました。

このラジコン式草刈機は4月に産業課が新たに2台導入したもので、遠隔操作により草刈り作業を行うことができます。刈幅60cm、前後進刈りにより方向転換が不要で、安全に広範囲の草刈りが可能です。



実際にリモコンで草刈機を動かしました

草刈機は、オペレーター講習会を1回以上受講した認定農業者等の借用希望者や自治会等に貸し出しを行っています。講習会には町民40名が参加し、メーカーから機械の使用法や注意事項について説明を受け、リモコンで草刈機を実際に操作し付近の草を刈りました。参加者は「想像していたよりも操作が簡単で使いやすいと感じました。広い土地の草刈りに使用したいと思います」と話しました。草刈機の貸し出しは、6月10日（金）から開始しており、次回の講習会は7月中旬から下旬頃を予定しています。

二の沢砂防堰堤完成式

～土石流災害の防止・軽減のための堰堤が完成～

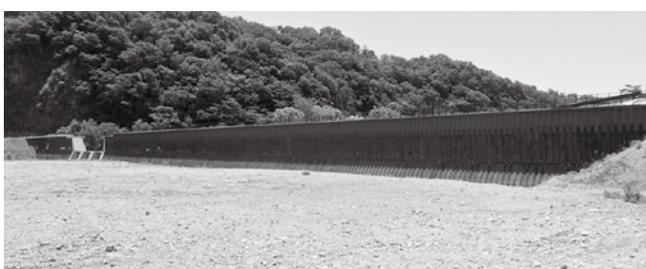
国土交通省中国地方整備局が伯耆町、江府町にまたがる日野川水系で工事を進めていた二の沢砂防堰堤（えんてい）が完成したことを受けて5月29日（日）、二の沢砂防堰堤完成式が開催されました。

二の沢砂防堰堤は、土砂流出を防止、軽減するため白土川上流の江府町吉原で平成28年8月から建設工事が始まり、令和3年11月に完成しました。規模は高さ12・5m、長さ358mで、中国地方で最も長い砂防堰堤です。堰堤の材料に現地の土砂を使用し運搬による騒音や排気ガスなどを抑制するとともに、堰堤の表面を現地の土で覆うことで在来植物が育ちやすく緑豊かな景観となるよう環境に配慮しているとのこと。

完成式には平井鳥取県知事をはじめ、森安伯耆町長、白石江府町長が参加し、森安町長は建設に携わった関係者に感謝の意を述べました。



完成式の様子



砂防堰堤は写真に入りきれないほどの長さです